

旭市旧海上中学校跡地の活用に係るサウンディング型市場調査結果概要

令和8年7月10日

旭市行政改革推進課

1 サウンディング調査実施の経緯

旭市（以下、「本市」という。）では、旭市立海上中学校は平成19年に、旭市立飯岡中学校は津波の被害を受けたことから平成28年に、それぞれ校舎の新築により現在地へ移転しました。旧校舎は解体され、更地となっている中学校跡地は各種イベント時の駐車場等として活用されていますが、本市の重要課題である人口減少対策に有効な活用を求める声が出てきました。

2か所の旧中学校跡地の活用にあたっては、観光、交流の拠点としての具体的な活用方法を検討すべく、平成29年10月11日に「旭市旧中学校跡地利用検討委員会」が設置されより多くの人が集まり交流が出来るまちづくりに重点を置き検討を重ねた結果、平成30年8月に「旭市旧中学校跡地利用報告書」を提出いただきました。

その後、旧飯岡中学校跡地は旭市サッカー場（しおさいスタジアム）として活用し、現在に至っています。

しかしながら、旧海上中学校跡地につきましては、海上地域の統合小学校の候補地として挙がることもあったため、具体的な活用のないまま現在に至っています。

このような中で、旧海上中学校跡地の有効活用にあたっては、これまでの検討経過を踏まえ、民間事業者の持つノウハウやアイデア等を積極的に活用し、今後の事業計画の立案に活かすため、サウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）を実施しました。

2 サウンディングの調査対象

旭市旧海上中学校跡地

・旭市後草2274番7外2筆 雑種地 27,151㎡

3 サウンディングの実施経過

サウンディング実施要領等の公表

・令和8年3月3日（火）～令和8年4月24日（金）

サウンディングの実施

・令和8年6月1日（月）～令和8年6月18日（木）

※台風6号の接近によりサウンディングの実施期間を当初より延期。

4 参加状況

3事業者

5 提案の概要

①子育て支援住宅を中心とした複合施設の整備

- ・人口減少対策と子育て世代の移住促進
- ・地域住民が利用できる生活利便施設の整備
- ・医療、福祉施設の充実

②太陽光発電設備

- ・カーボンニュートラルに向けた再エネ調達
- ・環境価値の獲得
- ・長期間固定価格での電力供給

③地域の生活利便性向上及び経済活性化に資する商業施設の整備

- ・多世代交流や地域の憩いの場、居場所づくり
- ・スーパーマーケットを中心とした地域密着型の交流施設の整備

6 今後の方針

サウンディングにより事業者様から貴重なご提案やご意見をいただくことができました。今回得られたご提案・課題等を踏まえ、早期の利活用に向けた公募条件の整理を進めてまいります。